

理事長退任のご挨拶

新体制になった健保組合の事業運営に これまで以上のご協力をお願いいたします



前理事長 杉 時夫

このたび、計機健康保険組合の理事長職を5月28日付で退任いたしましたので、一言ご挨拶申し上げます。

私が理事長に就任いたしましたのは平成23年5月であり、平成20年より導入された高齢者医療にかかる納付金が全国の健保組合財政を圧迫しはじめていた頃です。就任した平成23年度決算における納付金額は61億4400万円でありましたが、このたびまとまった平成28年度決算では70億8800万円にまで膨れ上がっています。また、今年度からは、後期高齢者支援金の算定方法が国保等と比べて報酬額の多い健保組合の負担が重くなる「総報酬割」が全面適用となるなど、組合財政は一層厳しくなっているのが実情です。

そうしたなか、平成27年4月からは、各健保組合が加入員の構成や特徴、医療費動向を分析し、独自の事業展開を行う「データヘ

ルス計画」が始まりました。データヘルス計画は、健康増進や生活習慣病等の重症化予防によって医療費を減らそうというポジティブな試みであり、現在は健保組合の保健事業を計画する上での指針となっております。

データヘルス計画は本年度をもって第1期計画を終え、3年間の実績と効果を踏まえ、平成30年度からの第2期計画の策定作業が始まります。この事業は、40歳以上の方を対象とした特定健康診査・特定保健指導と並ぶ、健保組合の新しい役割を象徴するものであります。これからは、組合会の外から当組合の発展を見届けていきたいと思っております。

本年5月1日で、当組合は設立50周年となりました。半世紀に及ぶ組合の歴史の一端に組合会議員として、また、晴れの日を理事長として迎えられたことは大変光栄なことであります。在任期間中、無事に職責を全うできたことは、事業主の皆様、被保険者とそのご家族の皆様のご協力の賜であると厚くお礼申し上げます。当組合を取り巻く厳しい環境は続きますが、新体制での事業運営に今まで以上のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健勝を祈念いたしまして、退任のご挨拶に代えさせていただきます。